

火は消した？ いつも心にきいてみて

秋の火災予防運動

火災が発生しやすい季節を迎え、11月9日から15日まで、全国一斉に「秋の火災予防運動」が展開されます。消防局では、市民の皆さんに防火意識を一層高めてもらうため、期間中、物品販売店舗、旅館、飲食店などの立入検査や消防訓練を行います。

問合せは消防局予防課(0798・32・7313)または各消防署へ。

火災から命を守る

近年の建物火災による死者のうち、その大半は一般住宅、共同住宅または併用住宅の火災により発生したもので、特に高齢者がその多くを占めています。本格的な高齢社会を迎えるにあたり、高齢者等を中心とした住宅火災による死者の低減を図る必要があります。そのために、家族や

住宅防火の7つのポイント

- 3つの習慣
 - 寝たばこは絶対しない
 - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
 - ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す
- 4つの対策
 - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる

見直そう、わが家の防火

《防火のポイント》

1 放火

西宮市では、10年以上も放火(疑いを含む)が火災原因の1位を占めています。放火は人が寝静まった夜間から明け方に多発しています。

3 天ぷら油

天ぷら油の発火温度は約360〜380度です。0.5リットル1.0リットルの油なら20分〜30分で発火温度に達します。

4 電気配線

電気のコードが傷ついたり、プラグにたまっていたほり原因で発熱・発火することもあります。

住宅防災診断について

消防局では、住宅における安全性の向上を図るため、住宅防災診断マニュアルを作成しています。住宅防災診断は、火災編・地震編・日常事故編の3編からなり、わが家、わが身を守るための目安となる診断を行い、住宅内外での危険性を調べていただき、どのように対処したらいいかを問いただすものです。消防職員がご家庭を訪問し、玄関先での問診により災害の対応状況などをお聞きして、住まいに適した対策を説明します。ご協力をお願いします。

火災の煙について

火災の煙は多量の有毒ガス(一酸化炭素や塩化水素など)を含んでいますので、少し吸っただけでも呼吸困難や神経障害に陥って避難に支障をきたし、最悪の場合は死に至ることもあります。できる限り煙を吸わないようにして避難しましょう。

煙の経路を知っておく

- ・空気より軽いので、天井に向かつて上昇
- ・部屋の上部でたまりはじめ、やがて室内に充滿
- ・出入口から吹き出す
- ・天井に近い所を、層をなして流れる
- ・エスカレーターや階段などから上昇
- ・火災の煙は温度が高いので、気管を火傷しやすい

煙の中でどう逃げるか

- ・姿勢を低くし、はうようようにして逃げる
- ・壁に手をあてて方向を確認しながら進む
- ・ぬらしたタオル、ハンカチなどで鼻と口をふさぐ
- ・想像以上の速さで煙は広がりますので、速やかな避難が大切

石油ストーブの取扱い

ストーブはとても便利な暖房器具ですが、たとえ炎が見えないファンヒーターでも、直接火を取り扱うだけに火災を引き起こす危険性は大変高いものです。正しい使い方を身に付けて、安全に心がけましょう。

- 洗濯物をストーブの上に干さない
- 石油ストーブは確実に火が消えてから給油する
- シーズン前に点検整備を
- 灯油であることを確かめてから給油する

- ・点火したら炎の調整・確認をする
- ・カーテンや家具に近付けない
- ・部屋に誰もいないときはストーブを必ず消す
- ・周囲にスプレー缶を置かない
- ・ストーブをつけたまま寝ない

消防署を体験

開放デーに行こう

北消防署、鳴尾消防署は、家族で楽しみながら防火・防災について学べる開放デーを行います。入場無料。問合せは各消防署へ。

北消防署開放デー

11月6日の午前10時から午後1時まで北消防署(0797・61・0119)で、はしご車搭乗体験(小学生対象、当日先着30人)やレスキュー体験、防火映画など。

鳴尾消防署開放デー

11月14日の午前10時から午後1時まで鳴尾消防署(0798・49・0119)で、はしご車搭乗体験(小学生対象、当日先着40人)や消火体験、救助訓練見学、ストラックアウトなど。

お年寄りや子どもを守るために

《家族みんなで防火》

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 家族みんなで | 火災が起きたらどうするか |
| 右の事項について話し合ってみましょう。 | それぞれの役割分担
災害時の連絡方法
家族の集合場所 |

《火災から命を守るポイント》

- お年寄りや病気の、幼児だけを残して外出しない
- 方向の異なる2つ以上の逃げ道を決めておく
- 寝具等はできるだけ防災製品を使用する
- 寝たばこは絶対しない、させない
- 就寝前には必ず火の元を点検する習慣をつけましょう
- 火災を起こしたり、見つけたら、大きな声でまわりの人に協力を求める
- 服装や持ち物にこだわらずできるだけ早く避難する
- 煙の中を避難するときはできるだけ姿勢を低くする
- いったん逃げ出したら再び中に戻らない
- 逃げ遅れた人がいるときは消防隊にすぐ知らせる

消防局 電話番号一覧

西宮市消防局	☎0798・26・0119
西宮消防署	☎0798・23・0119
西宮消防署北夙川分署	☎0798・74・0119
西宮消防署西宮浜出張所	☎0798・22・0119
鳴尾消防署	☎0798・49・0119
瓦木消防署	☎0798・63・0119
瓦木消防署甲東分署	☎0798・54・0119
北消防署	☎0797・61・0119
北消防署山口分署	☎078・904・0119

119番のかけ方

通報はあわてず正確に。次の各項目を落ち着いて伝えてください。携帯電話から119番通報するときは、発生場所の住所を確認し、しばらく電話の電源を切らないでください。火事(救急)です。住所・近くの見当(何があるか)を伝えてください。逃げ遅れの有無(患者の人数、性別、年齢、けがの状況など)を伝えてください。あなた(通報者)の名前・電話番号を伝えてください。

消防テレホンサービス

0798・22・9999 ツーツー シキユウ
11月1日～15日...火災から人命を守る。16日～30日...石油ストーブの取扱い。平日の午前8時～午後5時(土曜は午前11時)▷病院情報...平日の午後5時(土曜は午前11時)～翌朝8時と日曜・祝日の24時間

消防統計(平成16年)	
8月中	累計
火災	5件 64件
救急	1299件 12612件
救助	36件 243件